

- ※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示
- ※ 既存の関係独自仕様に関しては、青色で表示
- ※ 国保のチェック仕様において、支払基金のチェック仕様における警告チェック、最大文字数超えの切り捨て処理は実施しない

●提供用アーカイブファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル名が命名規則に準拠していない場合は請求データの送信を不可とする</li> <li>・提供用アーカイブファイル（ZIP形式ファイル）が解凍できない等によりシステムに取り込めない場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする</li> <li>・ルートフォルダが存在しない場合は「受付無効」とする</li> <li>・ルートフォルダ名が命名規則に準拠していない場合は「受付無効」とする</li> <li>・ルートフォルダ配下に交換用基本情報と集計情報ファイル以外が存在する場合は「受付無効」とする</li> <li>・ルートフォルダ配下に複数の交換用基本情報と集計情報ファイルが存在する場合は「受付無効」とする</li> <li>・ルートフォルダ配下にデータファイルフォルダ（※DATA）が存在しない場合は「受付無効」とする</li> <li>・データファイルフォルダ（※DATA）の配下にXMLファイルが存在しない場合は「受付無効」とする</li> <li>・ルートフォルダ配下に決済情報ファイルフォルダ（※CLAIMS）が存在しない場合は「受付無効」とする</li> <li>・決済情報ファイルフォルダ（※CLAIMS）の配下にXMLファイルが存在しない場合は「受付無効」とする</li> <li>・以前に処理したものと同一アーカイブファイルを受付けた場合、もしくはアーカイブファイル名が同じものを受付けた場合は「受付無効」とする</li> </ul>	請求データの送込エラー L 1805 L 1602 L 1601 L 1710 L 1709 L 1602 L 1702 L 1602 L 1702 L 1804	Web画面やクライアント業務によりファイル名不正のエラーとなる ZIPファイルをシステムに取り込めません。[ファイル名] フォルダが存在しません。[ルートフォルダ] ルートフォルダ名が誤っています。[ルートフォルダ名] [桁数]桁目が[エラー理由] ルートフォルダ配下に交換用基本情報ファイル、集計情報ファイル以外のファイルが格納されています。 ・交換用基本情報ファイルと思われるファイルが複数格納されています。 ・集計情報ファイルと思われるファイルが複数格納されています。 フォルダが存在しません。[DATA] フォルダ[DATA]配下にXMLファイルがありません。 フォルダが存在しません。[CLAIMS] フォルダ[CLAIMS]配下にXMLファイルがありません。 前回以前に受け付けたファイルと同一のファイルです。[ルートフォルダ名]
2次チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者データ（特定健診データ・特定健診決済情報ファイル）又は利用者データ（特定保健指導データ・特定保健指導決済情報ファイル）が全て「受付不可」の場合、「受付無効」とする</li> </ul>	L 1703	ルートフォルダ配下の全てのファイルに受付エラーが検出されました。ルートフォルダ自体を受付無効にします。[ルートフォルダ名]

●交換用基本情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換用基本情報ファイルのファイル名の先頭が「ix」以外の場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする</li> <li>・文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付無効」とする</li> <li>・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付無効」とする</li> <li>・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付無効」とする</li> <li>・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付無効」とする</li> <li>・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付無効」とする</li> </ul>	L 1702 L 1802 L 1101 L 1203 L 1202	フォルダ[ルートフォルダ名]配下に交換用基本情報ファイルがありません。 交換用基本情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] [項目名]が記録されていません。 [項目名]が[形式名]形式で記録されていません。[値] 固定長：[項目名]が[文字数]文字で記録されていません。[値] 可変長：[項目名]が[文字数]文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付無効」とする</li> </ul>	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード（形式）	最大文字数	データ形式	チェック可否		コード値 (国保取扱いのみ)	2次チェック内容 (補足説明など)	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ	
					特定健診(1)	特定保健指導(2)						
特定健診又は特定保健指導の交換用情報	種別	半角数字	2	可変	○	○	1：特定健診又は特定保健指導機関から代行機関（請求）	・1であること	受付無効	L 1301	交換用基本情報ファイルの種別に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	送付元機関	半角数字	10	固定	○	○		・ルートフォルダの「健診等機関番号」と同じであること	受付無効	L 1401	交換用基本情報ファイルの送付元機関[値]とルートフォルダの送付元機関[値]との関連が誤っています。	
	送付先機関	半角数字	8	固定	○	○		・ルートフォルダの「代行機関番号」と同じであること	受付無効	L 1401	交換用基本情報ファイルの送付先機関[値]とルートフォルダの送付先機関[値]との関連が誤っています。	
	作成年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○						
	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	1：特定健診 2：特定保健指導	・ルートフォルダの「種別コード」と同じであること ・左記のコード値の何れかであること	受付無効	1：L 1401 2：L 1301	1：交換用基本情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。 2：交換用基本情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	総ファイル数	半角数字	6	可変	○	○						

※1. チェック可否の意味は下記のとおり  
 ○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -：チェックしない

●集計情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集計情報ファイルのファイル名の先頭が「su」以外の場合は「受付無効（提出用アーカイブファイルごと受付不可）」とする</li> <li>・文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付無効」とする</li> <li>・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付無効」とする</li> <li>・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付無効」とする</li> <li>・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付無効」とする</li> <li>・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付無効」とする</li> </ul>	L 1702 L 1802 L 1101 L 1203 L 1202	フォルダ[ルートフォルダ名]配下に集計情報ファイルがありません。 集計情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] [項目名]が記録されていません。 [項目名]が[形式名]形式で記録されていません。[値] 固定長：[項目名]が[文字数]文字で記録されていません。[値] 可変長：[項目名]が[文字数]文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付無効」とする</li> </ul>	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード（形式）	最大文字数	データ形式	チェック可否		コード値 (国保取扱いのみ)	2次チェック内容 (補足説明など)	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
					特定健診(1)	特定保健指導(2)					
特定健診又は特定保健指導の集計情報	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	1：特定健診 2：特定保健指導	・ルートフォルダの「種別コード」と同じであること ・左記のコード値の何れかであること	受付無効	1：L 1401 2：L 1301	1：集計情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。 2：集計情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
	特定健診受診者/特定保健指導利用者の総数	半角数字	6	可変	○	○					
	特定健診/特定保健指導の集計(合計)/算定金額の総計	半角数字	9	可変	○	○					
	特定健診/特定保健指導の窓口負担の金額総計	半角数字	9	可変	△	△					
	他の検診による負担金額総計	半角数字	9	可変	△	-					
	特定健診/特定保健指導の請求金額総計	半角数字	9	可変	○	○					

※1. チェック可否の意味は下記のとおり  
 ○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -：チェックしない

- ※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示
- ※ 既存の国保担当仕様に関しては、青色で表示
- ※ 国保のチェック仕様において、支払基金のチェック仕様における警告チェック、最大文字数超えの切り捨て処理は実施しない

●特定健診データファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・特定健診データファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の“種別”がルートフォルダ名の“種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L2701	データファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名] [(桁数)桁目]が(エラー理由)
	・対となる特定健診決済情報ファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L2704	データファイル[ファイル名]に対応する決済情報ファイルがありません。
	・文字コードが不正 (UTF8以外)、又は構造化 (電子的標準様式) に準拠していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L2802	データファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名]
	・ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない	L2806	データファイルのルートタグの記録が誤っています。誤 [値] 正 [正常値]
	・名前空間 (ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値) が「電子的な標準様式の仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う	-	-
	・モード (形式) が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号 (、) が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号 (、) に自動補正を行う。	-	-
	・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする	L2101	[項目名] が記録されていません。
・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード (形式) が誤っているときは「受付不可」とする	L2203	[項目名] が (形式名) 形式で記録されていません。 [値]	
・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする (一部例外あり)	L2202	固定長: (項目名) が (文字数) 文字で記録されていません。 [値] 可変長: (項目名) が (文字数) 文字以内で記録されていません。 [値]	
2次チェック	・特定健診データのXML形式構造化ファイル (XMLスキーマファイル) に準拠していない場合は「受付不可」とする (なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する)	L2803	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。 [ファイル名] このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。
	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	下記参照	参照メッセージ [エラーメッセージ]

ファイルの記録内容	項目 (要素) 名称	モード (形式)	最大文字数	データ形式	チェック可否					コード値 (国保取扱いのみ)	2次チェック内容 (補足説明など)	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ	
					基本的な健診 (1)	基本的な健診+詳細な健診 (2)	基本的な健診+追加健診項目 (3)	基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目 (4)	人間ドック (5)						
受診者情報	報告区分	半角数字	2	固定	○	○	○	○	○	10: 特定健診	・10であること	受付不可	L2301	データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。 [値]	
	ファイル作成日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○		・未末日付 (システム日付の翌日以降の日付) でないこと	受付不可	L2408	データファイルのファイル作成日に未末日が記録されています。 [値]	
	保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○	○	○		・決済情報ファイルの受診者情報の当該項目と同じであること ※・先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号で比較する	受付不可	L2401	データファイルの保険者番号 [値] と決済情報ファイルの保険者番号 [値] との関連が誤っています。	
	被保険者証等記号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△	△	△						
	被保険者証等番号	全角文字又は半角英数	20	可変	○	○	○	○	○						
	氏名	全角カタカナ	20	可変	○	○	○	○	○						
	生年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○						
	男女区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○						
	郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○						
	住所	全角文字	40	可変	○	○	○	○	○						
	ファイル作成日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○						
	特定健診機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○	○	○						
	名称	全角文字	20	可変	○	○	○	○	○						
	郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	△	△	△	△	△						
	所在地	全角文字	40	可変	△	△	△	△	△						
電話番号	半角英数 (tel:99999999999)	15	可変	△	△	△	△	△							
受診券情報	受診券面種別コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△						
	受診券整理番号	半角数字	11	固定	△	△	△	△	△						
	受診券有効期限	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	△	△	△	△	△						
	受診券発行保険者番号	半角数字	8	固定	△	△	△	△	△						
特定健診情報	健診実施時のプログラム種別	半角数字	3	固定	○	○	○	○	○	000: 不明 010: 特定健診 030: 事業者健診 (労働安全衛生法に基づく健診) 040: 学校健診 (学校保健法に基づく職員健診) 060: がん検診 090: 肝炎検診 990: 上記ではない健診 (検診)	←左記のコード値の何れかであること ※・020 (広域連合の保健事業) ・050 (生活機能評価) は支払基金にて取り扱わない	受付不可	L2301	データファイルの健診実施時のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。 [値]	
	健診実施年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○						
	健診実施機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○	○	○		・決済情報ファイルの受診者情報の当該項目と同じであること	受付不可	L2401	データファイルの健診実施機関番号 [値] と決済情報ファイルの健診実施機関番号 [値] との関連が誤っています。	
	健診実施機関名称	全角文字	20	可変	○	○	○	○	○						
	健診実施機関郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○						
	健診実施機関所在地	全角文字	40	可変	○	○	○	○	○						
	健診実施機関電話番号	半角英数 (tel:99999999999)	15	可変	○	○	○	○	○						
健診結果情報 ※: 複数記録可能	CDAセクションのコード	半角数字	5	固定						01010: 特定健診検査・問診セクション 01020: 広域連合保健事業セクション 01030: 労働安全衛生法健診セクション 01040: 学校保健法健診セクション 01050: 生活機能評価セクション 01060: がん検診セクション 01090: 肝炎検診セクション 01990: 任意追加項目セクション	1: 01010のセクションコードが一つ以上存在すること 2: 01010、01990以外のセクションコードが存在しないこと 3: 1データファイル内でCDAセクションコードが重複して記録されていないこと ・CDAセクションのコードの010値が「1, 2, 392, 200119, 6, 1010」でない場合は、自動補正を行う。	受付不可	L2101 L2101 L2108	1, 2: データファイルに必須のCDAセクションのコードが記録されていません。 3: 特定健診データファイル内に重複したCDAセクションコード [値] が存在します。	
	健診 (検査) 結果 ※: 複数記録可能	検査項目コード データ値	半角英数 17	固定							・1つの健診項目内に健診項目コードや結果データ値などの要素が複数記録されていないこと ※但し、対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQ、CDの組み合わせ (PQ、CDは各々1つのみとする) は除く (PQ、CDの出現順番は任意とする)。 (補足資料1参照)	受付不可	L2111	データファイルの [項目名1] の [項目名2] が複数記録されています。	
		検査方法コード	半角英数	10	可変	△	△	△	△	△					
		基準上限・下限値 ※2	半角数字	11	可変	△	△	△	△	△					
		危険超過期間	半角数字	4	可変	△	△	△	△	△					
		結果履歴コード	半角英数	1	固定	△	△	△	△	△					
		判断医師氏名	全角文字	32	可変	△	△	△	△	△					

- ※1. チェック可否の意味は下記のとおり  
○: あり (要素及び項目値が存在すること) ×: なし (要素が存在しないこと) △: 任意 (要素と項目値が存在する場合チェックする) - : チェックしない
- ※2. 基準上限・下限値の桁数は下記のとおり  
整数部7桁以内、小数部3桁以内とする (小数点も1桁として含み、11桁の可変長文字列とする)

※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示  
 ※ 既存の国保職員仕様に関しては、青色で表示  
 ※ 国保のチェック仕様において、支払基金のチェック仕様における警告チェック、最大文字数超えの切り捨て処理は実施しない

●特定健診決済情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診決済情報ファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の“種別”がルートフォルダ名の“種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない</li> <li>対となる特定健診データファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない</li> <li>文字コードが不正（UTF8以外）、又は構造定義（電子的標準様式）に準拠していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない</li> <li>ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない</li> <li>名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsl属性、xsl:schemaLocation属性の各設定値）が「電子的標準様式の仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う</li> <li>モード（形式）が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（、～）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（、～）に自動補正を行う。</li> <li>各項目のチェックを実施する前に請求区分のチェックを行い、エラーの場合は以降のチェックを行わない</li> <li>各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする</li> <li>各項目のチェック可否が「×」の場合、要素が存在するときは「受付不可」とする</li> <li>各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付不可」とする</li> <li>各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする（一部例外あり）</li> </ul>	L2701 L2704 L2802 L2806 - - - - L2101 L2103 L2203 L2202	決済情報ファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名] [桁数]桁目が[エラー理由] 決済情報ファイル[ファイル名]に対応するデータファイルがありません。 決済情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] 決済情報ファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[正常値] - - - - [項目名]が記録されていません。 [項目名]が記録されています。[値] [項目名]が[形式名]形式で記録されていません。[値] 固定長：[項目名]が[文字数]文字で記録されていません。[値] 可変長：[項目名]が[文字数]文字以内で記録されていません。[値] 決済情報ファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 参考メッセージ[エラーメッセージ]
2次チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診決済情報のXML形式構造定義ファイル（XMLスキーマファイル）に準拠していない場合は「受付不可」とする（なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する）</li> <li>当月を含む過去3ヶ月以内の請求処理において決済情報ファイルに記録されている項目（実施区分、特定健診機関番号、保険者番号、受診券整理番号、生年月日、男女区分）と同一の内容の決済情報ファイルが存在する場合は、「受付不可」とする</li> <li>オンラインの保険者からの返戻受付期間は保険者報告1回目（23日頃）の翌月から受付開始とする</li> <li>当月処理において決済情報ファイル名と同一の決済情報ファイルが既に請求区分又は返戻・過誤分として存在する場合は、「受付不可」とする</li> <li>各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする</li> </ul>	L2803 L2707 L2711 L2712 下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード（形式）	最大文字数	データ形式	チェック可否					コード値（国保取扱いのみ）	2次チェック内容（補足説明など）	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ	
					基本的な健診（1）	基本的な健診+詳細な健診（2）	基本的な健診+追加健診項目（3）	基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目（4）	人間ドック（5）						
受診情報	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	1：特定健診情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>1であること</li> <li>ルートフォルダ名の“種別”と一致していること</li> </ul>	受付不可	1：L2301 2：L2401	1：決済情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値] 2：決済情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。	
受診者情報	健診実施機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>決済情報ファイルの2桁目から10桁で記録される「健診実施機関番号」と一致すること</li> <li>機関マスタに存在すること</li> <li>ルートフォルダ名の「健診実施機関番号」と同じであること</li> </ul>	受付不可	1：L2401 2：L2302 3：L2603	1：決済情報ファイルの健診実施機関番号[値]と決済情報ファイルのファイル名の健診実施機関番号[値]との関連が誤っています。 2：決済情報ファイルの健診実施機関番号がシステムに登録されていません。[値]		
	保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険者マスタに存在すること</li> <li>先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号が保険者マスタに存在すること</li> </ul>	受付不可	L2302	決済情報ファイルの保険者番号がシステムに登録されていません。[値]		
	被保険者証等記号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△	△	△						
	被保険者証等番号	全角文字又は半角英数	20	可変	○	○	○	○	○						
	氏名	全角カタカナ	20	可変	○	○	○	○	○						
	生年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○	○	○	1：男 2：女	<ul style="list-style-type: none"> <li>未来日付（システム日付の翌日以降の日付）でないこと</li> </ul>	受付不可	L2408	決済情報ファイルの生年月日に未来日が記録されています。[値]	
	男女区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>左記のコード値の何れかであること</li> </ul>	受付不可	L2301	決済情報ファイルの男女区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○	○	○						
	住所	全角文字	40	可変	○	○	○	○	○						
	受診券整理番号	半角数字	11	固定	△	△	△	△	△						
受診券有効期限	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	△	△	△	△	△							
受診券情報	窓口負担（基本的な健診）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	1：負担なし（単位：円） 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：%） 4：保険者負担上限額（単位：円）	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記のコード値の何れかであること</li> </ul>	受付不可	L2301	決済情報ファイルの窓口負担（基本的な健診）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
	窓口負担（詳細な健診）	負担額（率）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	△					
		窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△					
		保険者負担上限額	半角数字	6	固定	△	△	△	△	△					
	窓口負担（追加健診）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：%） 4：保険者負担上限額（単位：円）	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記のコード値の何れかであること</li> </ul>	受付不可	L2301	決済情報ファイルの窓口負担（追加健診）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
		負担額（率）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	△					
		窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△					
	窓口負担（人間ドック）	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△	1：負担なし 2：定額負担（単位：円） 3：定率負担（単位：%） 4：保険者負担上限額（単位：円）	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記のコード値の何れかであること</li> </ul>	受付不可	L2301	決済情報ファイルの窓口負担（人間ドック）の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
		負担額（率）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	△					
		窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	△	△					
決済情報	請求区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	1：基本的な健診 2：基本的な健診+詳細な健診 3：基本的な健診+追加健診項目 4：基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目 5：人間ドック	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記のコード値の何れかであること</li> </ul>	受付不可	L2301	決済情報ファイルの請求区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	委託料単価（個別健診・集団健診）区分	半角数字	1	固定	○	○	○	○	○	1：個別健診 2：集団健診	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記のコード値の何れかであること</li> </ul>	受付不可	L2301	決済情報ファイルの委託料単価（個別健診・集団健診）区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
	単価（基本的な健診）	項目コード	半角数字	9	可変	○	○	○	○	×		<ul style="list-style-type: none"> <li>請求区分が2又は4の場合、同じ項目コードの単価金額が存在しないこと</li> </ul>	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
		単価金額	半角数字	9	可変	×	○	×	○	×	1：貧血検査 2：心電図検査 3：眼底検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>請求区分が2又は4の場合、左記のコード値の何れかであること</li> </ul>	受付不可	L2301	決済情報ファイルの単価（基本的な健診）の項目コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
	単価（追加健診又は人間ドック）	項目コード	半角英数	17	固定	×	×	○	○	×	JLAC10コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>請求区分が5（人間ドック）の場合、複数記録されていないこと</li> <li>請求区分が3又は4の場合、同じ項目コードが存在しないこと</li> </ul>	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
		単価金額	半角数字	9	可変	×	×	○	○	○					
	窓口負担金額（基本的な健診）	半角数字	6	固定	△	△	△	△	×						
	窓口負担金額（詳細な健診）	半角数字	6	固定	×	△	×	△	×						
	窓口負担金額（追加健診又は人間ドック）	半角数字	6	固定	×	×	△	△	△						
	単価（合計）	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○						
窓口負担金額（合計）	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○							
他の精算による負担金額	半角数字	9	可変	△	△	△	△	△							
請求金額	半角数字	9	可変	○	○	○	○	○							

※1. チェック可否の意味は下記のとおり  
 ○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -：チェックしない

- ※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、青色で表示

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系010が誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、)に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○:いずれが1つ以上、項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ●:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) △:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ただし、関連する項目値が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腹囲(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1~4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.21-1~4を除く(補足資料2を参照) □:当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合、項目値が2(食後10時間以上)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く *対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(NO.21-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 *対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(NO.22-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■:関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	○:L2101 ○:L2101 ○:L2101 ○:L2101 L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401 ■:L2401	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ●:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 ▲:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 対象健診年度が(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)に(HbA1c)の検査結果が記録されています。 □:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。 ■:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。	
5	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
8	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	(項目名)に属した形式の値が記録されています。[値]
9	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の値が記録されています。[値]
10	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
11	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]
12	1CDAセッションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDAセッションコード [値]内に重複した検査項目コード [値]が存在します。
13	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※.範囲内とは、「範囲最小値」≦「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと ※.範囲外とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと ※.XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能 例) <value xsi:type="CD" code="H"/>	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]
14	XMLデータ型がPQでかつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H、L、N以外) ※.範囲内とは、「基準値の下限値」≦「記録された値」≦「基準値の上限値」に記録された値のこと ※.XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能 例) <value xsi:type="CD" code="H"/>	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
15	一連検査グループコードが誤って記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一連検査グループコードに属したコードが入力されています。[値]
16	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内JLAC10コードが入力されていない項目が存在します。
17	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。

(注意1)下記の条件を満たす場合はNo6以降のチェックを行わない

- 未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)  
例) <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
- 測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)  
例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI"/>
- 対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」Ccode属性が「H」又は「L」)  
※.範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと  
※.XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能  
例) <value xsi:type="CD" code="H"/>

(注意2)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)

- 項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値  
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
- 項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
- 項目のXMLデータ型がCO(xsi:type="CO")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
- 項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値  
形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:12桁以内

(注意3)下記の条件を満たす場合はNo6~8、13、17のチェックを行わない

- 対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の例における2番目のvalue要素)  
例) [身長]の場合  
<code code="9N001000000000001"/>  
<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm"/>  
<value xsi:type="CD" code="H"/>

(注意4)

- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果種別)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	コード値
身体計測	○	1	9N001000000000001	身長		不可	数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9	100.0~250.0	
	○	2	9N006000000000001	体重		不可	数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9	20.0~250.0	
	○	3	9N011000000000001	BMI		不可	数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	10.0~100.0	
	△	4-1	9N016160100000001	腹囲(実測)	BMI		数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9	40.0~250.0	
	△	4-2	9N016160200000001	腹囲(自己判定)	BMI		数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9	40.0~250.0	
	△	4-3	9N016160300000001	腹囲(自己申告)	BMI		数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9	40.0~250.0	
診察	○	4-4	9N021000000000001	内臓脂肪面積	BMI		数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9		
	○		9N026000000000002	肥満度			数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9		
	○	5	9N051000000000049	業務歴			文字列 (全角)	ST	128				
	○	6	9N056000000000011	既往歴		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし
	■	(6)	9N056160400000049	既往歴(具体的な既往歴)	既往歴	不可	文字列 (全角)	ST	128				
	○	7	9N061000000000011	自覚症状		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし
	■	(8)	9N061160800000049	自覚症状(所見)	自覚症状	不可	文字列 (全角)	ST	128				
	○	9	9N066000000000011	他覚症状		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし
	■	(10)	9N066160800000049	他覚症状(所見)	他覚症状	不可	文字列 (全角)	ST	128				
				9N071000000000049	その他(家族歴等)			文字列 (全角)	ST	128			
血圧等			9N076000000000049	摂診(口腔内含む)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N081000000000049	打診			文字列 (全角)	ST	128				
			9N086000000000049	聴診(関節可動域含む)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N091000000000001	反復聴診(下2回目)			数字 (半角)	PQ	1	N	0~9		
	●	11-1	9A751000000000001	収縮期血圧(1回目)			数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999	60~300	
	●	11-2	9A752000000000001	収縮期血圧(2回目)			数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999	60~300	
		11-3	9A755000000000001	収縮期血圧(その他)			数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999	60~300	
	●	12-1	9A761000000000001	拡張期血圧(1回目)			数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999	30~150	
	●	12-2	9A762000000000001	拡張期血圧(2回目)			数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999	30~150	
		12-3	9A765000000000001	拡張期血圧(その他)			数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999	30~150	
			9N121000000000001	心拍数			数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999		
	生化学検査			3F050000002327101	総コレステロール(可視吸光度法(コレステロール酸化酵素法))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	
				3F050000002327201	総コレステロール(紫外吸光度法(コレステロール脱水素酵素法))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	
			3F050000002399901	総コレステロール(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999		
●		13-1	3F015000002327101	中性脂肪(トリグリセリド)(可視吸光度法(酵素比色法-グリセロール消去))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	10~2000	
●		13-2	3F015000002327201	中性脂肪(トリグリセリド)(紫外吸光度法(酵素比色法-グリセロール消去))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	10~2000	
		13-3	3F015000002399901	中性脂肪(トリグリセリド)(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	10~2000	
●		14-1	3F070000002327101	HDLコレステロール(可視吸光度法(直接法(非沈澱法)))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	10~500	
●		14-2	3F070000002327201	HDLコレステロール(紫外吸光度法(直接法(非沈澱法)))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	10~500	
		14-3	3F070000002399901	HDLコレステロール(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	10~500	
●		15-1	3F077000002327101	LDLコレステロール(可視吸光度法(直接法(非沈澱法)))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	20~1000	
●		15-2	3F077000002327201	LDLコレステロール(紫外吸光度法(直接法(非沈澱法)))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	20~1000	
		15-3	3F077000002399901	LDLコレステロール(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	20~1000	
			3J010000002327101	総ビリルビン(可視吸光度法(化学酸化法、酵素法、ジアン法))			数字 (半角)	PQ	5	NN.N	0.0~999.9		
			3J010000002399901	総ビリルビン(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NN.N	0.0~999.9		
●		16-1	3B035000002327201	GOT(AST)(紫外吸光度法(JSCC標準化対応法))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	0~1000	
		16-2	3B035000002399901	GOT(AST)(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	0~1000	
●		17-1	3B045000002327201	GPT(ALT)(紫外吸光度法(JSCC標準化対応法))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	0~1000	
		17-2	3B045000002399901	GPT(ALT)(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	0~1000	
●		18-1	3B090000002327101	γ-GT(γ-GTP)(可視吸光度法(JSCC標準化対応法))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	0~1000	
		18-2	3B090000002399901	γ-GT(γ-GTP)(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999	0~1000	
			3B070000002327101	ALP(可視吸光度法(JSCC標準化対応法))			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999		
			3B070000002399901	ALP(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NNNNN	0~99999		
			3C015000002327101	血清クレアチニン(可視吸光度法(酵素法))			数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~99.99		
			3C015000002399901	血清クレアチニン(その他)			数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~99.99		
			3C020000002327101	血清尿酸(可視吸光度法(ウリカーゼ-ペルオキシダーゼ法))			数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9		
			3C020000002399901	血清尿酸(その他)			数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9		
			3A010000002327101	総蛋白(可視吸光度法(ビウレット法))			数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9		
		3A010000002399901	総蛋白(その他)			数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9			

- ※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、青色で表示

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系IDが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、)に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○:いずれが1つ以上、項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ●:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) △:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ただし、関連する項目値が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腹囲(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1~4を除く(補足資料2を参照) □:当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目が1つ以上、未実施以外で存在する場合、項目値が2(食後10時間以上)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(N0.21-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(N0.22-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■:関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	○:L2101 ○:L2101 ○:L2101 △:L2101	L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(同一性項目名)が記録されていません。 ●:データファイルの(同一性項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(同一性項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■:腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 ▲:データファイルの(同一性項目名)が記録されていません。 対象健診年度が(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)に(HbA1c)の検査結果が記録されています。 □:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。 ■:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。
5	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
8	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	(項目名)に属した形式の値が記録されています。[値]
9	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の値が記録されています。[値]
10	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
11	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]
12	1CDAセッションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDセッションコード [値]内に重複した検査項目コード [値]が存在します。
13	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※.範囲内とは、「範囲最小値」≦「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]
14	XMLデータ型がPQでかつ基準値(ReferenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(InterpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H、L、N以外) ※.範囲内とは、「入力最小値」≦「記録された値」≦「入力最大値」に記録された値のこと ※.XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能 例) <value xsi:type="CD" code="H"/>	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
15	一連検査グループコードが誤って記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一連検査グループコードに属したコードが入力されています。[値]
16	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内JLAC10コードが入力されていない項目が存在します。
17	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。

- (注意1)下記の条件を満たす場合はNo6以降のチェックを行わない
- ・未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)
  - 例) <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
  - ・測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)
  - 例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI"/>
  - ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」Ccode属性が「H」又は「L」)
  - ※.範囲内とは、「入力最小値」≦「記録された値」≦「入力最大値」に記録された値のこと
  - ※.XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能
  - 例) <value xsi:type="CD" code="H"/>
- (注意2)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)
- ・項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値  
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
  - ・項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
  - ・項目のXMLデータ型がCO(xsi:type="CO")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
  - ・項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値  
形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:128桁以内
- (注意3)下記の条件を満たす場合はNo6~8、13、17のチェックを行わない
- ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の例における2番目のvalue要素)
  - 例) [身長]の場合  
<code code="9N00100000000001"/>  
<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm"/>  
<value xsi:type="CD" code="H"/>
- (注意4)
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
  - ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
  - ・特定健診データファイルの健診実施年月日が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果種別)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	コード値	
血糖検査			3A015000002327101	アルブミン (可視吸光度法(BCG法、BCP改良法))			数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9			
			3A015000002399901	アルブミン (その他)			数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9			
			3A016000002327102	A/G			数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~99.99			
			5C095000002302301	血清フェリチン (エンザイム/アッセイ(EIA))			数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~999.9			
			5C095000002399901	血清フェリチン (その他)			数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~999.9			
	□	19	9N1141000000000011	空腹時血糖(食後)	空腹時血糖 (NO.20-1~4)	不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:食後10時間未満、2:食後10時間以上	
	▲			20-1	3D010000001926101	空腹時血糖 (電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法))		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~600	
				20-2	3D010000002227101	空腹時血糖 (可視吸光度法(ブドウ糖酸化酵素法))		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~600	
				20-3	3D010000001927201	空腹時血糖 (紫外吸光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖 脱水素酵素法))		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~600	
				20-4	3D010000001999901	空腹時血糖 (その他)		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	20~600	
			21-1	3D045000001906202	HbA1c (免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等))(JDS値)		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	3.0~20.0		
			21-2	3D045000001920402	HbA1c (HPLC(不安定分画除去HPLC法))(JDS値)		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	3.0~20.0		
			21-3	3D045000001927102	HbA1c (酵素法)(JDS値)		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	3.0~20.0		
			21-4	3D045000001999902	HbA1c (その他)(JDS値)		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	3.0~20.0		
			22-1	3D046000001906202	HbA1c (免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等))(NGSP値)		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	3.0~20.0		
			22-2	3D046000001920402	HbA1c (HPLC(不安定分画除去HPLC法))(NGSP値)		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	3.0~20.0		
			22-3	3D046000001927102	HbA1c (酵素法)(NGSP値)		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	3.0~20.0		
			22-4	3D046000001999902	HbA1c (その他)(NGSP値)		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	3.0~20.0		
				3D010129901926101	随時血糖 (電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法))		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999			
				3D010129902227101	随時血糖 (可視吸光度法(ブドウ糖酸化酵素法))		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999			
			3D010129901927201	随時血糖 (紫外吸光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖 脱水素酵素法))		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999				
			3D010129901999901	随時血糖 (その他)		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999				
○※2			23-1	1A020000000191111	尿糖 (試験紙法(機械読み取り))		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:-、2:±、3:+、4:++、5:+++	
			23-2	1A020000000190111	尿糖 (試験紙法(目視法))		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:-、2:±、3:+、4:++、5:+++	
			24-1	1A010000000191111	尿蛋白 (試験紙法(機械読み取り))		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:-、2:±、3:+、4:++、5:+++	
			24-2	1A010000000190111	尿蛋白 (試験紙法(目視法))		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:-、2:±、3:+、4:++、5:+++	
				1A100000000191111	尿潜血 (試験紙法(機械読み取り))		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:-、2:±、3:+、4:++、5:+++	
				1A100000000190111	尿潜血 (試験紙法(目視法))		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:-、2:±、3:+、4:++、5:+++	
				1A105160700166211	尿沈渣 (所見の有無)		コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし	
				1A105160800166249	尿沈渣 (所見)		文字列 (全角)	ST	128					
				1A030000000190301	尿比重 (屈折計法)		数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~9.999			
				1A030000000199901	尿比重 (その他)		数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~9.999			
血液検査(貧血検査)			25	2A040000001930102	ヘマトクリット値		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	0.0~100.0		
			26	2A030000001930101	血色素量[ヘモグロビン値]		数字 (半角)	PQ	4	NN.N	0.0~99.9	0.0~30.0		
			27	2A020000001930101	赤血球数		数字 (半角)	PQ	4	NNNN	0~9999	0~1000		
			28	2A020161001930149	貧血検査(実施理由)		文字列 (全角)	ST	128					
				2A060000001930101	MCV		数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~999.9			
				2A070000001930101	MCH		数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~999.9			
				2A080000001930101	MCHC		数字 (半角)	PQ	5	NN.NN	0.0~999.9			
				2A010000001930101	白血球数		数字 (半角)	PQ	7	NNNNN.N	0~9999999			
				2A050000001930101	血小板数		数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999			
	心電図検査			29	9A110160700000011	心電図 (所見の有無)		コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
■		(30)	9A110160800000049	心電図 (所見)	心電図(所見の有無)		文字列 (全角)	ST	128					
			31	9A110161000000049	心電図(実施理由)		文字列 (全角)	ST	128					
				9N201000000000011	胸部X線検査(がん:直接撮影)		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:A、2:B、3:C、4:D、5:E	
				9N206160700000011	胸部X線検査(一般:直接撮影)(所見の有無)		コード (半角)	CO	1	N	1~3		1:所見あり、2:所見なし、3:再撮影	
				9N206160800000049	胸部X線検査(一般:直接撮影)(所見)		文字列 (全角)	ST	128					
				9N211161100000049	胸部X線検査(直接撮影)(撮影年月日)		年月日 (半角)	ST	8					
				9N211161200000049	胸部X線検査(直接撮影)(フィルム番号)		文字列 (全角)	ST	32					
				9N216000000000011	胸部X線検査(がん:間接撮影)		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:A、2:B、3:C、4:D、5:E	
				9N221160700000011	胸部X線検査(一般:間接撮影)(所見の有無)		コード (半角)	CO	1	N	1~3		1:所見あり、2:所見なし、3:再撮影	
			9N221160800000049	胸部X線検査(一般:間接撮影)(所見)		文字列 (全角)	ST	128						
			9N226161100000049	胸部X線検査(間接撮影)(撮影年月日)		年月日 (半角)	ST	8						
			9N226161200000049	胸部X線検査(間接撮影)(フィルム番号)		文字列 (全角)	ST	32						
			6A010160706170411	喀痰検査(塗抹鏡検 一般細菌)(所見の有無)		コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし		
			6A010160806170449	喀痰検査(塗抹鏡検 一般細菌)(所見)		文字列 (全角)	ST	128						
			6A205000006171711	喀痰検査(塗抹鏡検 抗酸菌)		コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:-、2:±、3:+、4:2+、5:3+		

HbA1cに関する  
チェックについては補  
足資料の参照

- ※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、青色で表示

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系010が誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、)に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○:いずれが1つ以上、項目が存在すること(同一グループ内で選可) ●:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) △:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ただし、関連する項目値が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腹囲(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1~4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.21-1~4を除く(補足資料2を参照) □:当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合、項目値が2(食後10時間以上)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く *対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(NO.21-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 *対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(NO.22-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■:関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	○:L2101 ○:L2101 ○:L2101 △:L2101 L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401 ■:L2401	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ●:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。 L2416 腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 ▲:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 対象健診年度が(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)に(HbA1c)の検査結果が記録されています。 □:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。 ■:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。	
5	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
8	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	(項目名)に属した形式の値が記録されています。[値]
9	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の値が記録されています。[値]
10	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
11	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]
12	1CDAセクションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDセクションコード[値]内に重複した検査項目コード[値]が存在します。
13	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※.範囲内とは、「範囲最小値」≦「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]
14	XMLデータ型がPQでかつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H、L以外) ※.範囲内とは、「基準値の下限値」≦「記録された値」≦「基準値の上限値」に記録された値のこと ※.XMLデータ型がPQの項目のみ範囲外の記録が可能 例) <value xsi:type="CD" code="H"/>	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
15	一連検査グループコードが誤って記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一連検査グループコードに属したコードが入力されています。[値]
16	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内JLAC10コードが入力されていない項目が存在します。
17	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。

(注意1)下記の条件を満たす場合はNo6以降のチェックを行わない

- 未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)
- 例) <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
- 測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)
- 例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI"/>
- 対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」Ccode属性が「H」又は「L」)
- ※.範囲内とは、「入力最小値」≦「記録された値」≦「入力最大値」に記録された値のこと
- ※.XMLデータ型がPQの項目のみ範囲外の記録が可能
- 例) <value xsi:type="CD" code="H"/>

(注意2)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)

- 項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値  
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
- 項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
- 項目のXMLデータ型がCO(xsi:type="CO")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
- 項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値  
形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:12桁以内

(注意3)下記の条件を満たす場合はNo6~8、13、17のチェックを行わない

- 対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の例における2番目のvalue要素)
- 例) [身長]の場合  
<code code="9N001000000000001"/>  
<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm"/>  
<value xsi:type="CD" code="H"/>

(注意4)

- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果種別)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	コード値
がん 検診・ 生体 検査等			6A205165606171711	喀痰検査(ガフキー数)			コード (半角)	CD	2	NN	1~11		1:0号、2:1号、3:2号、4:3号、5:4号、6:5号、7:6号、8:7号、9:8号、10:9号、11:10号
			7A010000006143311	喀痰細胞診検査			コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:A、2:B、3:C、4:D、5:E
			9N251000000000011	胸部CT検査(がん)			コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:A、2:B、3:C、4:D、5:E
			9N251160700000011	胸部CT検査(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9N251160800000049	胸部CT検査(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N251161100000049	胸部CT検査(撮影年月日)			年月日 (半角)	ST	8				
			9N251161200000049	胸部CT検査(フィルム番号)			文字列 (全角)	ST	32				
			9N256160700000011	上部消化管X線(直接撮影)(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~3		1:所見あり、2:所見なし、3:要再撮影
			9N256160800000049	上部消化管X線(直接撮影)(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N256161100000049	上部消化管X線(直接撮影)(撮影年月日)			年月日 (半角)	ST	8				
			9N256161200000049	上部消化管X線(直接撮影)(フィルム番号)			文字列 (全角)	ST	32				
			9N261160700000011	上部消化管X線(間接撮影)(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~3		1:所見あり、2:所見なし、3:要再撮影
			9N261160800000049	上部消化管X線(間接撮影)(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N261161100000049	上部消化管X線(間接撮影)(撮影年月日)			年月日 (半角)	ST	8				
			9N261161200000049	上部消化管X線(間接撮影)(フィルム番号)			文字列 (全角)	ST	32				
			9N266160700000011	上部消化管内視鏡検査(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9N266160800000049	上部消化管内視鏡検査(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			3B339000002399811	ヘプシノゲン			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:陽性、2:陰性
			9F130160700000011	腹部超音波(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9F130160800000049	腹部超音波(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N271160700000011	婦人科診察(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9N271160800000049	婦人科診察(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N276160700000011	乳房視触診(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9N276160800000049	乳房視触診(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N281160700000011	乳房画像診断(マンモグラフィ)(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~4		1:所見あり、2:所見なし、3:要再撮影、4:マンモグラフィ不適
			9N281160800000049	乳房画像診断(マンモグラフィ)(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9F140160700000011	乳房超音波検査(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9F140160800000049	乳房超音波検査(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N291160700000011	子宮頸部視診(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9N291160800000049	子宮頸部視診(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9N296160700000011	子宮内診(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9N296160800000049	子宮内診(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			7A021165008543311	子宮頸部細胞診(細胞診婦人科材料)(日母分類)			コード (半角)	CO	1	N	1~7		1:class、2:class II、3:class IIIa、4:class IIIb、5:class IV、6:class V、7:検体不良
			7A021165108543311	子宮頸部細胞診(細胞診婦人科材料)(ベセスダ分類)			コード (半角)	CO	1	N	1~8		1:Negative、2:ASC-US、3:ASC-H、4:LSIL、5:HSIL、6:AGC/AIS、7:carcinoma等、8:検体不良
			7A022000008543311	子宮体部細胞診(細胞診婦人科材料)			コード (半角)	CD	1	N	1~4		1:陽性、2:疑陽性、3:陰性、4:検体不良
			9Z771160700000011	直腸肛門機能(2項目以上)(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9Z771160800000049	直腸肛門機能(2項目以上)(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			9Z770160700000011	直腸肛門機能(1項目)(所見の有無)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9Z770160800000049	直腸肛門機能(1項目)(所見)			文字列 (全角)	ST	128				
			1B030000001599811	便潜血			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:陽性、2:陰性
			5D030000002399811	PSA(前立腺特異抗原)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:陽性、2:陰性
			9C310000000000001	肺機能検査(努力肺活量)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9		
			9C320000000000001	肺機能検査(1秒量)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~99.9		
			9C330000000000002	肺機能検査(1秒率)			数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9		
			9C380000000000002	肺機能検査(%VC)			数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9		
			9E160162100000001	視力(右)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~9.99		
			9E160162500000001	視力(右:矯正)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~9.99		
			9E160162200000001	視力(左)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~9.99		
			9E160162600000001	視力(左:矯正)			数字 (半角)	PQ	4	NNN	0.0~9.99		
			9D100163100000011	聴力(右:1000Hz)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9D100163200000011	聴力(右:4000Hz)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9D100163500000011	聴力(左:1000Hz)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9D100163600000011	聴力(左:4000Hz)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:所見あり、2:所見なし
			9D100164000000011	聴力(検査方法)			コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:オーディオメトリ、2:その他

- ※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、青色で表示

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系0IDが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、)に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○:いずれが1つ以上、項目が存在すること(同一グループ内で選可) ●:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) △:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ただし、関連する項目値が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腹囲(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で選可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1~4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.21-1~4を除く(補足資料2を参照) □:当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目が1つ以上、未実施以外で存在する場合、項目値が2(食後10時間以上)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(NO.21-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(NO.22-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■:関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	受付不可	○:L2101 ○:L2101 ○:L2101 ○:L2101 L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401 ■:L2401	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ●:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ■:データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。 □:データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。 ■:データファイルの(項目名)とデータファイルの(項目名)との関連が誤っています。
5	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
8	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	(項目名)に属した形式の値が記録されています。[値]
9	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の値が記録されています。[値]
10	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
11	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]
12	1CDAセッションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDAセッションコード[値]内に重複した検査項目コード[値]が存在します。
13	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※.範囲内とは、「範囲最小値」≦「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと ※.範囲内とは、「入力最小値」≦「記録された値」≦「入力最大値」に記録された値のこと ※.XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]
14	XMLデータ型がPQでかつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H、L、N以外) ※.範囲内とは、「基準値の下限値」≦「記録された値」≦「基準値の上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
15	一連検査グループコードが誤って記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一連検査グループコードに属したコードが入力されています。[値]
16	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内JLAC10コードが入力されていない項目が存在します。
17	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。

- (注意1)下記の条件を満たす場合はNo6以降のチェックを行わない
- 未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)
  - 例) <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
  - 測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)
  - 例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
  - 対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」Ccode属性が「H」又は「L」)
  - ※.範囲内とは、「入力最小値」≦「記録された値」≦「入力最大値」に記録された値のこと
  - ※.XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能
  - 例) <value xsi:type="CD" code="H" />
- (注意2)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)
- 項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値  
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
  - 項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
  - 項目のXMLデータ型がCO(xsi:type="CO")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
  - 項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値  
形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:128桁以内
- (注意3)下記の条件を満たす場合はNo6~8、13、17のチェックを行わない
- 対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の例における2番目のvalue要素)
  - 例) [身長]の場合  
<code code="9N00100000000001" />  
<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm" />  
<value xsi:type="CD" code="H" />
- (注意4)
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
  - 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
  - 特定健診データファイルの健診実施年月日が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果種別)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	コード値	
眼底検査		32	9D1001609000000049	聴力(その他の所見)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
		33	9E1001660000000011	眼底検査(キヌクワナー分類)		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~6		1:0, 2:1, 3:IIa, 4:IIb, 5:III, 6:IV	
		34	9E1001662000000011	眼底検査(シェイエ分類:H)		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:0, 2:1, 3:2, 4:3, 5:4	
		35	9E1001663000000011	眼底検査(シェイエ分類:S)		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~5		1:0, 2:1, 3:2, 4:3, 5:4	
		36	9E1001663000000011	眼底検査(SCOTT分類)		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~9		1:I(a), 2:I(b), 3:II, 4:III(a), 5:III(b), 6:IV, 7:V(a), 8:V(b), 9:VI	
		37	9E1001609000000049	眼底検査(その他の所見)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9E1051621000000001	眼底検査(実施理由)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9E1051622000000001	眼底検査(右)		不可	数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999			
			9E1051622000000001	眼底検査(左)		不可	数字 (半角)	PQ	3	NNN	0~999			
	その他 医師 検査 等が 任意 に行 う 検査			5C070000002306201	CRP(可視吸光度法(ラテックス凝集比濁法))		不可	数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9		
			5C070000002306301	CRP(可視吸光度法(免疫比濁法))		不可	数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9			
			5C070000002399901	CRP(その他)		不可	数字 (半角)	PQ	5	NNNN	0.0~999.9			
			5H010000001910111	血液型(ABO)(試験紙法 カラム凝集法)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~4		1:A, 2:B, 3:AB, 4:0	
			5H010000001999911	血液型(ABO)(その他)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~4		1:A, 2:B, 3:AB, 4:0	
			5H020000001910111	血液型(Rh)(試験紙法 カラム凝集法)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:+, 2:-	
			5H020000001999911	血液型(Rh)(その他)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:+, 2:-	
			5E071000002399811	梅毒反応		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~2		1:陽性, 2:陰性	
			5F016141002399811	HBs抗原		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~2		1:陽性, 2:陰性	
			5F360149502399811	HCV抗体		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~2		1:陽性, 2:陰性	
			5F360149702399811	HCV抗体(力価)		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~4		1:陽性, 2:低力価, 3:中力価, 4:高力価	
			5F360150002399811	HCV抗体検査		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~2		1:陽性, 2:陰性	
			5F360145002399811	HCV抗体増幅検査		不可	コード (半角)	CO	1	N	1~2		1:陽性, 2:陰性	
			9N401000000000011	C型肝炎ウイルス検診の判定		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:現在、C型肝炎ウイルスに感染していない可能性が極めて高い、 2:現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い	
			9N406000000000049	その他の法定特殊健康診断		不可	文字列 (全角)	ST	128					
		9N411000000000049	その他の法定検査		不可	文字列 (全角)	ST	128						
		9N416000000000049	その他の検査		不可	文字列 (全角)	ST	128						
医師 の 判 断	○	38	9N501000000000011	メタボリックシンドローム判定		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~4		1:基準該当, 2:予備該当, 3:非該当, 4:判定不能	
	○	39	9N506000000000011	保健指導レベル		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~4		1:積極的支援, 2:動機付け支援, 3:なし, 4:判定不能	
	○	40	9N511000000000049	医師の診断(判定)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
	○	(40)		健康診断を実施した医師の氏名(※1)	医師の診断(判定)		不可	文字列 (全角)	ST	32				
			9N521000000000049	医師の意見		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N526000000000049	意見を述べた医師の氏名		不可	文字列 (全角)	ST	32					
			9N531000000000049	歯科医師による健康診断		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N536000000000049	健康診断を実施した歯科医師の氏名		不可	文字列 (全角)	ST	32					
			9N541000000000049	歯科医師の意見		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N546000000000049	意見を述べた歯科医師の氏名		不可	文字列 (全角)	ST	32					
			9N551000000000049	備考		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N556000000000011	生活機能評価の結果1		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~3		1:介護予防事業の利用が望ましい, 2:医学的な理由により次の介護予防の利用は不適当, 3:生活機能の低下なし	
			9N561000000000011	生活機能評価の結果2		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~5		1:すべて, 2:運動器の機能向上, 3:栄養改善, 4:口腔機能の向上, 5:その他(上記2を優先したときに記載)	
			9N566000000000049	生活機能評価の結果3		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N571000000000049	医師の診断(判定)(生活機能評価)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N576000000000049	診断をした医師の氏名(生活機能評価)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N581161300000011	医師の診断(肺がん検診)(コード)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:精密検査必要, 2:精密検査不要	
			9N581161400000049	医師の診断(肺がん検診)(自由記載)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N586000000000049	診断をした医師の氏名(肺がん検診)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N591161300000011	医師の診断(胃がん検診)(コード)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:精密検査必要, 2:精密検査不要	
			9N591161400000049	医師の診断(胃がん検診)(自由記載)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N596000000000049	診断をした医師の氏名(胃がん検診)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N601161300000011	医師の診断(乳がん検診)(コード)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:精密検査必要, 2:精密検査不要	
			9N601161400000049	医師の診断(乳がん検診)(自由記載)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N606000000000049	診断をした医師の氏名(乳がん検診)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N611161300000011	医師の診断(子宮がん検診)(コード)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:精密検査必要, 2:精密検査不要	
			9N611161400000049	医師の診断(子宮がん検診)(自由記載)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N616000000000049	診断をした医師の氏名(子宮がん検診)		不可	文字列 (全角)	ST	128					
			9N621161300000011	医師の診断(大腸がん検診)(コード)		不可	コード (半角)	CD	1	N	1~2		1:精密検査必要, 2:精密検査不要	

※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示  
 ※ 既存の国保独自仕様に関しては、青色で表示

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系01Dが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、-)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、-)に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○: 当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○: いずれか1つ以上、項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ●: いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ▲: いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ただし、関連する項目が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腹囲(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲: いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1~4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO.21-1~4を除く(補足資料2を参照) □: 当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合、項目値が2(食後10時間以上)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ※: 対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(NO.21-1~4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ※: 対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(NO.22-1~4)がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■: 関連する項目のコードが「あり」の場合、当該項目が存在すること	○: L2101 ○: L2101 ●: L2101 ▲: L2101 L2416 ▲: L2101 L2422 □: L2401 ■: L2401	○: データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○: データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ●: データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ▲: データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 △: データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 ■: 腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 ▲: データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 対象健診年度が(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)に(HbA1c)の検査結果が記録されています。 □: データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。 ■: データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。	
5	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(CD等): データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等): データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
8	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	(項目名)に属した形式の値が記録されています。[値]
9	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の値が記録されています。[値]
10	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
11	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において範囲((入力最小値)~(入力最大値))外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]
12	1 CDAセクションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDAセクションコード [値]内に重複した検査項目コード [値]が存在します。
13	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※: 範囲内とは、「範囲最小値」≤「記録された値」≤「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]
14	XMLデータ型がPQでかつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H、L、N以外) ※: 範囲内とは、「入力最小値」≤「記録された値」≤「入力最大値」に記録された値のこと ※: XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能 例) <value xsi:type="CD" code="H"/>	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
15	一連検査グループコードが誤って記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一連検査グループコードに属したコードが入力されています。[値]
16	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内にJLAC10コードが入力されていない項目が存在します。
17	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。

(注意1) 下記の条件を満たす場合はNo6以降のチェックを行わない

- 未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)  
例) <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
- 測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)  
例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI"/>
- 対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」Ccode属性が「H」又は「L」)  
※: 範囲内とは、「入力最小値」≤「記録された値」≤「入力最大値」に記録された値のこと  
※: XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能  
例) <value xsi:type="CD" code="H"/>

(注意2) 下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)

- 項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値  
形式: 半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数: 整数部7桁以内、小数部3桁以内
- 項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値  
形式: 半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数: 2桁以内
- 項目のXMLデータ型がCO(xsi:type="CO")の測定値  
形式: 半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数: 2桁以内
- 項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値  
形式: 全角文字(半角文字は不可) 桁数: 12桁以内

(注意3) 下記の条件を満たす場合はNo6~8、13、17のチェックを行わない

- 対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の例における2番目のvalue要素)  
例) [身長]の場合  
<code code="9N001000000000001"/>  
<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm"/>  
<value xsi:type="CD" code="H"/>

(注意4)

- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
- 特定健診データファイルの健診実施年月日が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果種別)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	コード値		
医 師 の 診 断		9N6211614000000049	医師の診断(大腸がん検診)(自由記数)	文字列 (全角)	ST	128									
		9N6260000000000049	診断をした医師の氏名(大腸がん検診)	文字列 (全角)	ST	32									
		9N6311613000000011	医師の診断(前立腺がん検診)(コード)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:精密検査必要、2:精密検査不要		
		9N6311614000000049	医師の診断(前立腺がん検診)(自由記数)	文字列 (全角)	ST	128									
		9N6360000000000049	診断をした医師の氏名(前立腺がん検診)	文字列 (全角)	ST	128									
		9N6410000000000049	医師の診断(その他)	文字列 (全角)	ST	128									
		9N6460000000000049	診断をした医師の氏名(その他)	文字列 (全角)	ST	32									
		○ 41	9N7010000000000011	服薬1(血圧)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:服薬あり、2:服薬なし	
		○ 42	9N7060000000000011	服薬2(血糖)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:服薬あり、2:服薬なし	
		○ 43	9N7110000000000011	服薬3(脂質)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:服薬あり、2:服薬なし	
		○ 44	9N7360000000000011	喫煙	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ	
		45	9N7011670000000049	服薬1(血圧×薬剤)	文字列 (全角)	ST	128								
		46	9N7011671000000049	服薬1(血圧×服薬理由)	文字列 (全角)	ST	128								
		47	9N7061670000000049	服薬2(血糖×薬剤)	文字列 (全角)	ST	128								
		48	9N7061671000000049	服薬2(血糖×服薬理由)	文字列 (全角)	ST	128								
		49	9N7111670000000049	服薬3(脂質×薬剤)	文字列 (全角)	ST	128								
		50	9N7111671000000049	服薬3(脂質×服薬理由)	文字列 (全角)	ST	128								
		51	9N7160000000000011	既往歴1(脳血管)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ	
		52	9N7210000000000011	既往歴2(心臓)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ	
		53	9N7260000000000011	既往歴3(腎不全・人工透析)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ	
54	9N7310000000000011	貧血	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
55	9N7410000000000011	20歳からの体重変化	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
56	9N7460000000000011	30分以上の運動習慣	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
57	9N7510000000000011	歩行又は身体活動	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
58	9N7560000000000011	歩行速度	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
59	9N7610000000000011	1年間の体重変化	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
60	9N7660000000000011	食べ方1(早食い等)	コード (半角)	CD	1	N	1~3					1:選い、2:ふつう、3:選い			
61	9N7710000000000011	食べ方2(就寝前)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
62	9N7760000000000011	食べ方3(夜食/間食)	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
63	9N7810000000000011	食習慣	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
64	9N7860000000000011	飲酒	コード (半角)	CD	1	N	1~3					1:毎日、2:時々、3:ほとんど飲まない			
65	9N7910000000000011	飲酒量	コード (半角)	CO	1	N	1~4					1:1合未満、2:1~2合未満、3:2~3合未満、4:3合以上			
66	9N7960000000000011	睡眠	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
67	9N8010000000000011	生活習慣の改善	コード (半角)	CD	1	N	1~5					1:意志なし、2:意志あり(6ヶ月以内)、3:意志あり(近いうち)、4:取組み済み(6ヶ月未満)、5:取組み済み(6ヶ月以上)			
68	9N8060000000000011	保健指導の希望	コード (半角)	CD	1	N	1~2					1:はい、2:いいえ			
生 活 機 能 問 診		9N8110000000000011	生活機能問診1	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8160000000000011	生活機能問診2	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8210000000000011	生活機能問診3	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8260000000000011	生活機能問診4	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8310000000000011	生活機能問診5	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8360000000000011	生活機能問診6	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8410000000000011	生活機能問診7	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8460000000000011	生活機能問診8	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8510000000000011	生活機能問診9	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		
		9N8560000000000011	生活機能問診10	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		
		9N8610000000000011	生活機能問診11	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		
		9N8660000000000011	生活機能問診12	数字 (半角)	PQ	4	NNLN	0.0~99.9							
		9N8710000000000011	生活機能問診13	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		
		9N8760000000000011	生活機能問診14	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		
		9N8810000000000011	生活機能問診15	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		
		9N8860000000000011	生活機能問診16	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N8910000000000011	生活機能問診17	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		
		9N8960000000000011	生活機能問診18	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		
		9N9010000000000011	生活機能問診19	コード (半角)	CD	1	N	0~1					0:はい、1:いいえ		
		9N9060000000000011	生活機能問診20	コード (半角)	CD	1	N	0~1					1:はい、0:いいえ		

- ※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、青色で表示

●特定健診項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	JLAC10コードの項目コード体系0IDが誤って記録されている場合、「1.2.392.200119.6.1005」に自動補正を行う	-	-	-
2	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている場合、自動補正を行う	-	-	-
3	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、)に自動補正を行う。	-	-	-
4	項目(JLAC10コード)に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○:当該項目(JLAC10コード)が必ず存在すること ○:いずれが1つ以上、項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ●:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) △:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ただし、関連する項目値が20未満又は「L」(入力最小値の範囲外)の場合は除く なお、「No4-3 腹囲(自己申告)」のみ未実施以外で記録されている場合は関連する項目値が22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)であること ▲:いずれが1つ以上、未実施以外の項目が存在すること(同一グループ内で混在可) ただし、対象健診年度が平成24年度以前の場合、NO.22-1~4を除き、対象健診年度が平成25年度以降の場合、NO21-1~4を除く(補足資料②を参照) □:当該項目が未実施以外で存在し、かつ関連する項目がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合、項目値が2(食後10時間以上)であること ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、HbA1c(N0.21-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、HbA1c(N0.22-1~4)がいずれが1つ以上、未実施以外で存在する場合 ■:関連する項目のコードが1(あり)の場合、当該項目が存在すること	○:L2101 ○:L2101 ●:L2101 △:L2101  L2416 ▲:L2101 L2422 □:L2401  ■:L2401	○:データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○:データファイルの(同一性項目名)が記録されていません。 ●:データファイルの(同一性項目名)が記録されていません。 △:データファイルの(同一性項目名)が記録されていません。  腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。 ▲:データファイルの(同一性項目名)が記録されていません。 対象健診年度が(対象健診年度)においてデータファイルの(項目名)に(HbA1cの検査結果)が記録されています。 □:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。  ■:データファイルの(項目名) [値]とデータファイルの(項目名) [値]との関連が誤っています。	
5	未実施の記録が不可の項目で未実施(observation要素のnegationInd属性が「true」)で設定されている	受付不可	L2112	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超えている	受付不可	L2202	固定長(CD等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等):データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
8	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	(項目名)に誤った形式の値が記録されています。[値]
9	対象健診年度が平成24年度以前の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲(入力最小値)~(入力最大値)外の値が記録されています。[値]
10	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている	受付不可	L2420	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。
11	対象健診年度が平成25年度以降の場合、入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果(コード型)の内容が誤っている	受付不可	L2421	データファイルの(項目名)において範囲(入力最小値)~(入力最大値)外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]
12	1CDAセクションコード内に同じ項目(JLAC10コード)が複数記録されている	受付不可	L2106	CDセクションコード [値]内に重複した検査項目コード [値]が存在します。
13	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※.範囲内とは、「範囲最小値」≤「記録された値」≤「範囲最大値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]
14	XMLデータ型がPQでかつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤っている(H、L、N以外) ※.範囲内とは、「基準値の下限値」≤「記録された値」≤「基準値の上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2414	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
15	一連検査グループコードが誤って記録されている	受付不可	L2110	特定健診データファイル内の一連検査グループコードに誤ったコードが入力されています。[値]
16	JLAC10コードが存在しない項目が存在している	受付不可	L2109	特定健診データファイル内JLAC10コードが入力されていない項目が存在します。
17	検査項目が全て未実施の項目	受付不可	L2102	データファイルに実施された検査項目が記録されていません。

- (注意1)下記の条件を満たす場合はNo6以降のチェックを行わない
- ・未実施の項目(observation要素のnegationInd属性が「true」)  
例) <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
  - ・測定不可能な項目(value要素のnullFlavor属性が「NI」)  
例) <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
  - ・対象健診年度が平成24年度以前の場合、測定値が入力最大値・最小値の範囲外の項目(value要素のxsi:type属性が「CD」Ccode属性が「H」又は「L」)  
※.範囲内とは、「入力最小値」<「記録された値」<「入力最大値」に記録された値のこと  
※.XMLデータ型が「PQ」の項目のみ範囲外の記録が可能  
例) <value xsi:type="CD" code="H" />

(注意2)下記の特定健診項目に記録されている項目以外については、検査項目コード(JLAC10コード)、検査法コード、基準上限値・下限値、食後経過時間、測定値、結果解釈コード、医師の氏名を形式と桁数のチェックのみ行うものとする(チェック対象は要素が存在した場合とする)

- ・項目のXMLデータ型がPQ(xsi:type="PQ")の測定値  
形式:半角数字(マイナス等記号は不可) 桁数:整数部7桁以内、小数部3桁以内
- ・項目のXMLデータ型がCD(xsi:type="CD")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
- ・項目のXMLデータ型がCO(xsi:type="CO")の測定値  
形式:半角英数字(マイナス等記号は不可) 桁数:2桁以内
- ・項目のXMLデータ型がST(xsi:type="ST")の測定値  
形式:全角文字(半角文字は不可) 桁数:128桁以内

- (注意3)下記の条件を満たす場合はNo6~8、13、17のチェックを行わない
- ・対象健診年度が平成25年度以降の場合、XMLデータ型がPQの項目に対して、xsi:type属性がそれぞれ「PQ」、「CD」である2つのvalue要素が記録された場合のCD(下記の例における2番目のvalue要素)  
例) [身長]の場合  
<code code="9N001000000000001" />  
<value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm" />  
<value xsi:type="CD" code="H" />

- (注意4)
- ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年3月31日以前の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。
  - ・特定健診データファイルの健診実施年月日が平成25年4月1日以降の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。
  - ・特定健診データファイルの健診実施年月日が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

分類	種別	NO	JLAC10コード (項目コード+結果識別)	項目名	関連項目	未実施の 記録可否	データ型 (属性)	XMLデータ 型	最大 文字数	形式	項目値(コード値) の範囲	入力最小・最大値の 範囲	コード値
			9N9110000000000011	生活機能問診21			コード (半角)	CD	1	N	0~1		1:はい、0:いいえ
			9N9160000000000011	生活機能問診22			コード (半角)	CD	1	N	0~1		1:はい、0:いいえ
			9N9210000000000011	生活機能問診23			コード (半角)	CD	1	N	0~1		1:はい、0:いいえ
			9N9260000000000011	生活機能問診24			コード (半角)	CD	1	N	0~1		1:はい、0:いいえ
			9N9310000000000011	生活機能問診25			コード (半角)	CD	1	N	0~1		1:はい、0:いいえ

- ※1.「健康診断を実施した医師の氏名」の項目有無は、「医師の診断(判定)」のauthor/assignedAuthor/assignedPerson/name要素で判断する
- ※2.男女区分が女性である場合、チェック対象外とする。
- ※3.後期高齢者(保険者番号の先頭2桁が「39」)である場合、チェック対象外とする。
- ※4.同一の項目(JLAC10コード)が記録されている場合、先頭の項目のみチェックを行う

- ※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示
- ※ 既存の国保独自仕様に関しては、青色で表示
- ※ 国保のチェック仕様において、支払基金のチェック仕様における警告チェック、最大文字数超えの切り捨て処理は実施しない

●特定保健指導データファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・特定保健指導データファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の“種別”がルートフォルダ名の“種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2701	データファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名][桁数]桁目が[エラー理由]
	・対となる特定保健指導決済情報ファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2704	データファイル[ファイル名]に対応する決済情報ファイルがありません。
	・文字コードが不正（UTF8以外）、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2802	データファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名]
	・ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない	L 2806	データファイルのルートタグの記述が誤っています。誤[値]正[正常値]
	・名前空間（ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値）が「電子的な標準モードの仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う	-	-
	・モード（形式）が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号（、～）が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号（、～）に自動補正を行う。	-	-
	・各項目のチェックを実施する前に報告区分、保健指導レベルのチェックを行い、エラーの場合は以降のチェックを行わない	-	-
	・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする	L 2101	[項目名]が記録されていません。
	・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード（形式）が誤っているときは「受付不可」とする	L 2203	[項目名]が[形式名]形式で記録されていません。[値]
	・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数を超過している、又はデータ形式が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする（一部例外あり）	L 2202	固定長：[項目名]が[文字数]文字で記録されていません。[値] 可変長：[項目名]が[文字数]文字以内で記録されていません。[値]
2次チェック	・特定保健指導データのXML形式構造定義ファイル（XMLスキーマファイル）に準拠していない場合は「受付不可」とする（なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する）	L 2803	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。参考メッセージ[エラーメッセージ]
	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする	下記参照	

ファイルの記録内容	項目（要素）名称	モード（形式）	最大文字数	データ形式	チェック可否			コード値（国保取扱いのみ）	2次チェック内容（補足説明など）	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
					初回請求時 積極的支援 （指導 レベル：1）	最終請求時 積極的支援 （指導 レベル：1）	途中終了時 積極的支援 （指導 レベル：1）					
報告区分	報告区分	半角数字	2	固定	○	○	○	21：特定保健指導（開始（初回請求）時） 22：特定保健指導（実績評価（最終請求）時） 23：特定保健指導（途中終了時） 24：その他（チェック可否については初回請求：積極的支援と同じ）	・左記のコード値のいずれかであること	受付不可	L 2301	データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。[値]
	ファイル作成日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○		・未来日付（システム日付の翌日以降の日付）でないこと	受付不可	L 2408	データファイルのファイル作成日に未来日が記録されています。[値]
利用者情報	保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○		・決済情報ファイルの利用者情報の当該項目と同じであること ※：先頭2桁が「67」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号と比較する	受付不可	L 2401	データファイルの保険者番号[値]と決済情報ファイルの保険者番号[値]との関連が誤っています。
	被保険者証等記号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△					
	被保険者証等番号	全角文字又は半角英数	20	可変	○	○	○					
	氏名	全角カタカナ	20	可変	○	○	○					
	生年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○					
	男女区分	半角数字	1	固定	○	○	○					
	郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○					
特定保健指導情報ファイル作成機関情報	ファイル作成日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○					
	特定保健指導機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○					
	名称	全角文字	20	可変	○	○	○					
	郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	△	△	△					
	所在地	全角文字 半角英数	40	可変	△	△	△					
電話番号	(tel:999999999999)	15	可変	△	△	△						
受診券・利用券情報	特定健診受診券番号	半角数字	11	固定	△	△	△		※：本項目はチェックしない			
	特定健診受診券発行保険者番号	半角数字	8	固定	△	△	△		※：本項目はチェックしない			
	利用券番号	半角数字	11	固定	○	○	○					
	利用券有効期限	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○					
保健指導実施情報	利用券発行保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○					
	保健指導実施時のプログラム種別	半角数字	3	固定	○	○	○	100：特定保健指導	・100であること	受付不可	L 2301	データファイルの保健指導実施時のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。[値]
	保健指導実施年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○					
	保健指導実施機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○		・決済情報ファイルの利用者情報の当該項目と同じであること	受付不可	L 2401	データファイルの保健指導実施機関番号[値]と決済情報ファイルの利用者の保健指導実施機関番号[値]との関連が誤っています。
	保健指導実施機関名称	全角文字	20	可変	○	○	○					
	保健指導実施機関郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○					
	保健指導実施機関所在地	全角文字 半角英数	40	可変	○	○	○					
電話番号	(tel:999999999999)	15	可変	○	○	○						
保健指導結果情報	CDAセクションのコード	半角数字	5	固定	○	○	○	90010：指導共通情報セクション 90030：指導初回情報セクション 90040：継続支援情報セクション 90050：中間評価情報セクション 90060：最終評価情報セクション 90070：指導集計情報セクション	※：特定保健指導項目チェックシートを参照	受付不可		
	指導情報	支援レベル .....										

※1. チェック可否の意味は下記のとおり  
 ○：あり（要素及び項目値が存在すること） ×：なし（要素が存在しないこと） △：任意（要素と項目値が存在する場合チェックする） -：チェックしない

※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示  
 ※ 既存の国保独自仕様に関しては、青色で表示

●特定保健指導決済情報ファイル

区分	チェック内容	エラーコード	エラーメッセージ
1次チェック	・特定保健指導決済情報ファイルのファイル名が命名規則に準拠していない、又はファイル名の“種別”がルートフォルダ名の“種別”と一致していない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 7 0 1	決済情報ファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名] [桁数]桁目が(エラー理由)
	・対となる特定保健指導データファイルが存在しない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 7 0 4	決済情報ファイル[ファイル名]に対応するデータファイルがありません。
	・文字コードが不正(UTF8以外)、又はXMLファイルとして認識できない場合は「受付不可」とする。エラーの場合は以降のチェックを行わない	L 2 8 0 2	決済情報ファイルがシステムに取り込まれません。[ファイル名]
	・ルートタグが誤っている場合、以降のチェックを行わない	L 2 8 0 6	決済情報ファイルのルートタグの記録が誤っています。原[値]正[正常値]
	・名前空間(ルート要素に設定されるxmlns属性、xmlns:xsi属性、xsi:schemaLocation属性の各設定値)が「電子的な標準モードの仕様」に準拠していない場合は自動補正を行う	-	-
	・モード(形式)が「全角文字又は半角英数」、及び「全角文字」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、ー)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(一、～)に自動補正を行う。	-	-
	・各項目のチェック可否が「○」の場合、要素及び項目値が存在しないときは「受付不可」とする	L 2 1 0 1	(項目名)が記録されていません。
・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード(形式)が誤っているときは「受付不可」とする	L 2 2 0 3	(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]	
・各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、最大文字数が固定でかつ最大文字数に満たしていないときは「受付不可」とする(一部例外あり)	L 2 2 0 2	固定長:[項目名]が(文字数)文字で記録されていません。[値]	
2次チェック	・特定保健指導決済情報のXML形式構造定義ファイル(XMLスキーマファイル)に準拠していない場合は「受付不可」とする(なお、受付エラー連絡書には参考としてエラーメッセージを最大3つまで表示する)	L 2 8 0 3	可変長:[項目名]が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
	・当月処理において決済情報ファイル名と同一の決済情報ファイルが既に請求分又は返戻・過誤分として存在する場合は、「受付不可」とする	L 2 7 1 2	決済情報ファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名]このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。参考メッセージ[エラーメッセージ]
	・当月を含む過去3ヶ月以内の請求処理において決済情報ファイルに記録されている項目(実施区分、特定保健指導番号、保険者番号、受診券整理番号、生年月日、男女区分)と同一の内容の決済情報ファイルが存在する場合は、「受付不可」とする	L 2 7 0 8	
	・オンラインの保険者からの返戻受付期間は保険者報告1回目(23日頃)の翌月から受付開始とする	L 2 7 1 1	
	・各項目の2次チェック内容の条件を満たしていない場合は「受付不可」とする		

ファイルの記録内容	項目(要素)名称	モード(形式)	最大文字数	データ形式	チェック可否			コード値(国保取扱いのみ)	2次チェック内容(補足説明など)	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ	
					初回請求時 積極的支援(指導レベル:1)	最終請求時 積極的支援(指導レベル:2)	途中終了時 積極的支援(指導レベル:1)						
利用情報	実施区分	半角数字	1	固定	○	○	○	2:特定保健指導	・2であること ・ルートフォルダ名の“種別”と一致していること	受付不可	1:L 2 3 0 1 2:L 2 4 0 1	1: 決済情報ファイルの実施区分に誤ったコード値が記録されています。[値] 2: 決済情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの種別[値]との関連が誤っています。	
	保健指導レベル	半角数字	1	固定	○	○	○	1:積極的支援 2:積極的支援	・左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの保健指導レベルに誤ったコード値が記録されています。[値]	
	実施時点	半角数字	1	固定	○	○	○	1:開始時 2:実績評価時 3:途中終了(資格喪失による利用停止・脱落等)時 4:その他(チェック可否については初回請求:積極的支援と同し)	・左記のコード値の何れかであること ・データファイルの報告区分の2桁目と同じであること ・3:途中終了のとき、支援レベルが「2:積極的支援」でないこと	受付不可	1:L 2 3 0 1 2:L 2 4 0 1 3:L 2 4 0 9	1: 決済情報ファイルの実施時点に誤ったコード値が記録されています。[値] 2: 決済情報ファイルの実施時点[値]とデータファイルの種別の2桁目[値]との関連が誤っています。 3: 決済情報ファイルの保健指導レベルが積極的支援[2]の時に決済情報ファイルの実施時点に途中終了時[3]が記録されています。	
利用者情報	保健指導実施機関番号	半角数字	10	固定	○	○	○		・決済情報ファイル名の2桁目から10桁で記録される「保健指導実施機関番号」と一致すること ・機関マスタに存在すること ・ルートフォルダ名の「種別等機関番号」と同じであること	受付不可	1:L 2 4 0 1 2:L 2 3 0 2 3-L 2 6 0 3	1: 決済情報ファイルの保健指導実施機関番号[値]と決済情報ファイルのファイル名の保健指導実施機関番号[値]との関連が誤っています。 2: 決済情報ファイルの保健指導実施機関番号がシステムに登録されていません。[値]	
	保険者番号	半角数字	8	固定	○	○	○		・保険者マスタに存在すること ・先頭2桁が「07」の場合、先頭2桁を「00」に置き換えた保険者番号が保険者マスタに存在すること	受付不可	L 2 3 0 2	決済情報ファイルの保険者番号がシステムに登録されていません。[値]	
	被保険者証等記号	全角文字又は半角英数	20	可変	△	△	△						
	被保険者証等番号	全角文字又は半角英数	20	可変	○	○	○						
	氏名	全角カタカナ	20	可変	○	○	○						
	生年月日	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○			・未来日付(システム日付の翌日以降の日付)でないこと	受付不可	L 2 4 0 8	決済情報ファイルの生年月日に未来日が記録されています。[値]
	男女区分	半角数字	1	固定	○	○	○	1:男 2:女	・左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの男女区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	
郵便番号	半角英数 (999-9999)	8	固定	○	○	○							
利用券情報	利用券整理番号	半角数字	11	固定	○	○	○						
	特定保健指導受診券整理番号	半角数字	11	固定	○	○	○						
	利用券有効期限	半角日付 (YYYYMMDD)	8	固定	○	○	○						
	窓口負担	窓口負担コード	半角数字	1	固定	△	△	△	1:負担なし 2:定額負担(単位:円) 3:定率負担(単位:%)	・左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの窓口負担の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
		負担額(率)	半角数字	6	固定	△	△	△		※、特定健診と同様、利用券情報マスタを使用して処理する。		-	
窓口負担コード 保険者負担上限額		半角数字 半角数字	1 6	固定 固定	△ △	△ △	△ △	4: 保険者負担上限額(単位:円)	・左記のコード値であること ※、特定健診と同様、利用券情報マスタを使用して処理する。	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの窓口負担の窓口負担コードに誤ったコード値が記録されています。[値]	
決済情報	単価	半角数字	9	可変	○	○	○						
	支払割合	半角数字	3	可変	○	○	○						
	実施済ポイント数	半角数字	4	可変	○	○	○						
	計画上的ポイント数	半角数字	4	可変	○	○	○						
	算定金額	半角数字	9	可変	○	○	○						
	窓口負担金額	徴収コード	半角数字	1	固定	○	○	○	1:初回指導時全額徴収方式の場合 2:それ以外の場合	・左記のコード値の何れかであること	受付不可	L 2 3 0 1	決済情報ファイルの窓口負担金額の徴収コードに誤ったコード値が記録されています。[値]
	請求金額	窓口負担金額	半角数字	9	可変	○	○	○					

※1. チェック可否の意味は下記のとおり  
 ○:あり(要素及び項目値が存在すること) ×:なし(要素が存在しないこと) △:任意(要素と項目値が存在する場合チェックする) - :チェックしない

※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示  
 ※ 既存の関係独自仕様に関しては、青色で表示

●特定保健指導項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、-)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、-)に自動補正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○: 当該項目が当該報告区分の時に必ず存在すること	受付不可	L2101	データファイルに必須の(セクション名)セクションコードが記録されていません。
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○: 当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) ○: 当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内にいずれか1つ以上、項目が存在すること □: 当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く ■: 当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く	受付不可	○: L2101 ○: L2101 □: L2101 ■: L2101	○: データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○: データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 □: データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■: データファイルの(項目名)が記録されていません。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
5	1特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2107	特定保健指導結果情報内に重複した保健指導項目コード[値]が存在します。
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている	受付不可	L2206	(項目名)に属したXMLデータ型が記録されています。誤[値]正[値]
8	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	固定長(CD等): データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等): データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
9	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	
10	上限・下限が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※: 範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと 項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※: 範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≧「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]
11	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※: 範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≧「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]

(注意1) 下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない  
 (注意2) ・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。  
 ・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。  
 ・特定保健指導データファイルの利用券整理番号が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

番号	セクションコード	セクション名	初回請求時(報告区分: 21)		最終請求時(報告区分: 22)		項目コード	項目名	初回請求時(報告区分: 21)			最終請求時(報告区分: 22)			データ型(属性)	XMLデータ型	最大文字数	項目値(コード値)の範囲	上限・下限の範囲	単位	XMLバージョン(※1)	備考
			積極的支援	動機づけ支援	積極的支援	動機づけ支援			積極的支援	動機づけ支援	積極的支援	動機づけ支援										
1001	90010	指導共通情報					1020000001	支援レベル	○	○	○			コード(半角)	CD	1	1~2			1	1: 積極的支援、2: 動機づけ支援	
1002			○	○			1020000002	行動変容ステージ						コード(半角)	CD	1	1~5			1	1: 意志なし、2: 意志あり(6ヶ月以内)、3: 意志あり(近いうち)、4: 取組済み(6ヶ月未満)、5: 取組済み(6ヶ月以上)	
1003							1020000003	保健指導コース名						文字列(全角)	ST	32				1		
1004	90030	指導初回情報(初回面接実施情報)						初回面接の実施日付	○	○	○			年月日(半角)		8					3	YYYYMMDD形式
1005			○	○				初回面接による支援の支援形態	○	○	○			コード(半角)		1	1~2			2	1: 個別支援、2: グループ支援	
1006							1022000013	初回面接の実施時間	○	○	○			数字(半角)		3	0~999		min	1		
1007								初回面接の実施者	○	○	○			コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1008	90030	指導初回情報(保健指導計画情報)						1021000020	継続的支援予定期間	○	○			数字(半角)	PQ	2	0~99		wk	1		
1009							1021001031	目標腹囲						数字(半角)	PQ	5	0.0~999.9		cm	1		
1010							1021001032	目標体重						数字(半角)	PQ	5	0.0~999.9		kg	1		
1011							1021001033	目標収縮期血圧						数字(半角)	PQ	3	0~999		mm[Hg]	1		
1012							1021001034	目標拡張期血圧						数字(半角)	PQ	3	0~999		mm[Hg]	1		
1013							1021001050	一日の削減目標エネルギー量						数字(半角)	PQ	4	0~9999		kcal	1		
1014							1021001051	一日の運動による目標エネルギー量						数字(半角)	PQ	4	0~9999		kcal	1		
1015							1021001052	一日の食事による目標エネルギー量						数字(半角)	PQ	4	0~9999		kcal	1		
1016	90050	中間評価情報						中間評価の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1017								中間評価の支援形態						コード(半角)		1	1,3,4,6			2	1: 個別支援A、3: グループ支援、4: 電話A、6: 電子メール支援A	
1018							1032000013	中間評価の実施時間						数字(半角)		3	0~999		min	1		
1019							1032000014	中間評価の実施ポイント						数字(半角)	INT	4	0~9999			1		
1020								中間評価の実施者						コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1021							1032001031	中間評価時の腹囲						数字(半角)	PQ	5	0.0~999.9		cm	1		
1022							1032001032	中間評価時の体重						数字(半角)	PQ	5	0.0~999.9		kg	1		
1023							1032001033	中間評価時の収縮期血圧						数字(半角)	PQ	3	0~999		mm[Hg]	1		
1024							1032001034	中間評価時の拡張期血圧						数字(半角)	PQ	3	0~999		mm[Hg]	1		
1025							1032001042	中間評価時の生活習慣の改善(栄養・食生活)						コード(半角)	CD	1	0~2			1	0: 変化なし、1: 改善、2: 悪化	
1026							1032001041	中間評価時の生活習慣の改善(身体活動)						コード(半角)	CD	1	0~2			1	0: 変化なし、1: 改善、2: 悪化	
1027							1032001043	中間評価時の生活習慣の改善(喫煙)						コード(半角)	CD	1	1~4			1	1: 禁煙継続、2: 非継続、3: 非喫煙、4: 禁煙の意志なし	
1028	90040	継続支援情報(支援A①情報)						支援A①の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1029								支援A①の支援形態						コード(半角)		1	1,3,4,6			2	1: 個別支援A、3: グループ支援、4: 電話A、6: 電子メール支援A	
1030							1032100013	支援A①の実施時間						数字(半角)		3	0~999		min	1		
1031							1032100014	支援A①の実施ポイント						数字(半角)	INT	4	0~9999			1		
1032								支援A①の実施者						コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1033	90040	継続支援情報(支援A②情報)						支援A②の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1034								支援A②の支援形態						コード(半角)		1	1,3,4,6			2	1: 個別支援A、3: グループ支援、4: 電話A、6: 電子メール支援A	
1035							1032100013	支援A②の実施時間						数字(半角)		3	0~999		min	1		
1036							1032100014	支援A②の実施ポイント						数字(半角)	INT	4	0~9999			1		
1037								支援A②の実施者						コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1038	90040	継続支援情報(支援A③情報)						支援A③の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1039								支援A③の支援形態						コード(半角)		1	1,3,4,6			2	1: 個別支援A、3: グループ支援、4: 電話A、6: 電子メール支援A	
1040							1032100013	支援A③の実施時間						数字(半角)		3	0~999		min	1		
1041							1032100014	支援A③の実施ポイント						数字(半角)	INT	4	0~9999			1		
1042								支援A③の実施者						コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1043	90040	継続支援情報(支援A④情報)						支援A④の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1044								支援A④の支援形態						コード(半角)		1	1,3,4,6			2	1: 個別支援A、3: グループ支援、4: 電話A、6: 電子メール支援A	
1045							1032100013	支援A④の実施時間						数字(半角)		3	0~999		min	1		
1046							1032100014	支援A④の実施ポイント						数字(半角)	INT	4	0~9999			1		
1047								支援A④の実施者						コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1048	90040	継続支援情報(支援B①情報)						支援B①の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1049								支援B①の支援形態						コード(半角)		1	2,5,7			2	2: 個別支援B、5: 電話B、7: 電子メール支援B	
1050							1032200013	支援B①の実施時間						数字(半角)		3	0~999		min	1		
1051							1032200014	支援B①の実施ポイント						数字(半角)	INT	4	0~9999			1		
1052								支援B①の実施者						コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1053	90040	継続支援情報(支援B②情報)						支援B②の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1054								支援B②の支援形態						コード(半角)		1	2,5,7			2	2: 個別支援B、5: 電話B、7: 電子メール支援B	
1055							1032200013	支援B②の実施時間						数字(半角)		3	0~999		min	1		
1056							1032200014	支援B②の実施ポイント						数字(半角)	INT	4	0~9999			1		
1057								支援B②の実施者						コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1058	90040	継続支援情報(支援B③情報)						支援B③の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1059								支援B③の支援形態						コード(半角)		1	2,5,7			2	2: 個別支援B、5: 電話B、7: 電子メール支援B	
1060							1032200013	支援B③の実施時間						数字(半角)		3	0~999		min	1		
1061							1032200014	支援B③の実施ポイント						数字(半角)	INT	4	0~9999			1		
1062								支援B③の実施者						コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1063	90040	継続支援情報(支援B④情報)						支援B④の実施日付						年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1064								支援B④の														

※ 最新バージョンに伴うチェック仕様の変更については、赤字で表示  
 ※ 既存の関係独自仕様に関しては、青色で表示

●特定保健指導項目チェックシート

NO	チェック内容	エラーレベル	エラーコード	エラーメッセージ
1	データ型(属性)が「文字列(全角)」の項目に対し、Linuxで入力された全角記号(、)が含まれている場合はWindowsで判別出来る全角記号(、)に自動補正を行う。	-	-	-
2	セクションコードに対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○: 当該項目が当該報告区分の時に必ず存在すること	受付不可	L2101	データファイルに必須の(セクション名)セクションコードが記録されていません。
3	保健指導項目に対し種別(下記参照)の条件を満たさない ○: 当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること(※1参照) ○: 当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内にいずれか1つ以上、項目が存在すること □: 当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、■が存在する場合は除く ■: 当該項目が当該報告区分の時に当該セクション内に項目が存在すること。ただし、□が存在する場合は除く	受付不可	○: L2101 ○: L2101 □: L2101 ■: L2101	○: データファイルの(項目名)が記録されていません。 ○: データファイルの(同一項目名)が記録されていません。 □: データファイルの(項目名)が記録されていません。 ■: データファイルの(項目名)が記録されていません。
4	複数記録が許されない項目が複数記録されている。	受付不可	L2105	重複が許されない項目が複数記録されています。[項目名]
5	1特定保健指導データファイル内で保健指導項目コードが重複して記録されている。	受付不可	L2107	特定保健指導結果情報内に重複した保健指導項目コード[値]が存在します。
6	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2203	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]
7	XMLデータ型に準拠しないデータ型が設定されている	受付不可	L2206	(項目名)に属したXMLデータ型が記録されています。誤[値]正[値]
8	最大文字数が指定されている項目において、最大文字数を超過している	受付不可	L2202	固定長(CD等): データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値] 可変長(ST等): データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]
9	形式が指定されている項目において、形式に準拠しない項目値が設定されている	受付不可	L2208	
10	上限・下限が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※: 範囲内とは、「範囲最小値」≧「記録された値」≦「範囲最大値」に記録された値のこと 項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※: 範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≧「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]
11	項目値(コード値)の範囲が指定されている項目において、項目値が範囲外 ※: 範囲内とは、「下限値(20ポイント、160ポイント)」≧「記録された値」≦「上限値」に記録された値のこと	受付不可	L2405	データファイルの(項目名)に対し範囲((下限値)~(上限値))外の値が記録されています。[値]

(注意1) 下記の保健指導項目以外についてはチェックを行わない  
 (注意2) ・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」未満の場合、対象健診年度を平成24年度以前とする。  
 ・特定保健指導データファイルの利用券整理番号の先頭2桁が「13」以上の場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。  
 ・特定保健指導データファイルの利用券整理番号が取得できなかった場合、対象健診年度を平成25年度以降とする。

番号	セクションコード	セクション名	初回請求時(報告区分: 21)		最終請求時(報告区分: 22)		項目コード	項目名	初回請求時(報告区分: 21)		最終請求時(報告区分: 22)		データ型(属性)	XMLデータ型	最大文字数	項目値(コード値)の範囲	上限・下限の範囲	単位	XMLパターン(※1)	備考	
			積極的支援	動機づけ支援	積極的支援	動機づけ支援			積極的支援	動機づけ支援	積極的支援	動機づけ支援									
1068	90060	最終評価情報(6ヶ月評価情報)					6ヶ月後の評価の実施日付			□	□	□	年月日(半角)		8				3	YYYYMMDD形式	
1069							6ヶ月後の評価の支援形態又は確認方法			□	□	□	コード(半角)		1	1~4			2	1: 個別支援、2: グループ支援、3: 電話、4: 電子メール支援	
1070							6ヶ月後の評価の実施者			□	□	□	コード(半角)		1	1~4			4	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他	
1071							6ヶ月後の評価ができない場合の確認回数			■	■	■	数字(半角)	INT	2	0~99			1		
1072							6ヶ月後の評価時の腹囲			□	□	□	数字(半角)	PQ	5	0.0~999.9	cm		1		
1073							6ヶ月後の評価時の体重			□	□	□	数字(半角)	PQ	5	0.0~999.9	kg		1		
1074							6ヶ月後の評価時の収縮期血圧			□	□	□	数字(半角)	PQ	3	0~999	mm [Hg]		1		
1075							6ヶ月後の評価時の拡張期血圧			□	□	□	数字(半角)	PQ	3	0~999	mm [Hg]		1		
1076							6ヶ月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(栄養・食生活)			□	□	□	コード	CD	1	0~2			1	0: 変化なし、1: 改善、2: 悪化	
1077							6ヶ月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(身体活動)			□	□	□	コード	CD	1	0~2			1	0: 変化なし、1: 改善、2: 悪化	
1078							6ヶ月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(喫煙)			□	□	□	コード	CD	1	1~4			1	1: 禁煙継続、2: 非継続、3: 非喫煙、4: 禁煙の意志なし	
1079	90070	指導集計情報(計画集計情報)					1041800117 計画上の継続的な支援の実施回数			○	○		数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1080							1041101117 計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援A)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1084							1041302117 計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)			○	○		数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1086							1041103117 計画上の継続的な支援の実施回数(電話Aによる支援)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1088							1041104117 計画上の継続的な支援の実施回数(e-mailAによる支援)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1082							1041201117 計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援B)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1089							1041203117 計画上の継続的な支援の実施回数(電話Bによる支援)			○			数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1091							1041204117 計画上の継続的な支援の実施回数(e-mailBによる支援)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1081							1041101113 計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援A)						数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1085							1041302113 計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)			○	○		数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1087							1041103113 計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話Aによる支援)						数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1083							1041201113 計画上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援B)						数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1090							1041203113 計画上の継続的な支援の合計実施時間(電話Bによる支援)			○			数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1092							1041100114 計画上の継続的な支援によるポイント(支援A)			○	○		数字(半角)	INT	4	0~9999	160~9999		1		
1093							1041200114 計画上の継続的な支援によるポイント(支援B)			○			数字(半角)	INT	4	0~9999	20~9999		1	対象健診年度が平成24年度以前の場合 対象健診年度が平成25年度以降の場合	
1094							1041800114 計画上の継続的な支援によるポイント(合計)			○	○		数字(半角)	INT	4	0~9999	180~9999		1	対象健診年度が平成24年度以前の場合 対象健診年度が平成25年度以降の場合	
1095	90070	指導集計情報(実施済み集計情報)					1042800117 実施上の継続的な支援の実施回数			○	○		数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1096							1042101117 実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援A)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1100							1042302117 実施上の継続的な支援の実施回数(グループ支援)			○	○		数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1102							1042103117 実施上の継続的な支援の実施回数(電話Aによる支援)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1104							1042104117 実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailAによる支援)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1098							1042201117 実施上の継続的な支援の実施回数(個別支援B)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1105							1042203117 実施上の継続的な支援の実施回数(電話Bによる支援)			○			数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1107							1042204117 実施上の継続的な支援の実施回数(e-mailBによる支援)						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1097							1042101113 実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援A)						数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1101							1042302113 実施上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援)			○	○		数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1103							1042103113 実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話Aによる支援)						数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1099							1042201113 実施上の継続的な支援の合計実施時間(個別支援B)						数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1106							1042203113 実施上の継続的な支援の合計実施時間(電話Bによる支援)			○			数字(半角)	PQ	3	0~999	min		1		
1108							1042100114 継続的な支援によるポイント(支援A)			○	○		数字(半角)	INT	4	0~9999	160~9999		1		
1109							1042200114 継続的な支援によるポイント(支援B)			○			数字(半角)	INT	4	0~9999	20~9999		1	対象健診年度が平成24年度以前の場合 対象健診年度が平成25年度以降の場合	
1110							1042800114 継続的な支援によるポイント(合計)			○	○		数字(半角)	INT	4	0~9999	180~9999		1	対象健診年度が平成25年度以降の場合 - 決済情報ファイルの実施済みポイント数が0~179の場合、L3403が出力される - 決済情報ファイルの実施済みポイント数と不一致の場合、L3418が出力される	
1111							1042800118 禁煙指導の実施回数						数字(半角)	INT	3	0~999			1		
1112							1042000022 実施上の継続的な支援の終了日			○	○		年月日(半角)	ST	8				1	YYYYMMDD形式	
1113							委託先保健指導機関番号(1)						数字(半角)		10					10桁固定	
1114							委託先保健指導機関名(1)						文字列(全角)		20						
1115							委託先保健指導機関番号(2)						数字(半角)		10					10桁固定	
1116							委託先保健指導機関名(2)						文字列(全角)		20						
1117							委託先保健指導機関番号(3)						数字(半角)		10					10桁固定	
1118							委託先保健指導機関名(3)						文字列(全角)		20						
1119							委託先保健指導機関番号(4)						数字(半角)		10					10桁固定	
1120							委託先保健指導機関名(4)						文字列(全角)		20						

※1. 項目有無についてはXMLパターン別に下記のとおりとする

パターン	項目有無判定
1	当該セクション内に entry/act/entryRelationship/observation/code要素が存在し code属性に当該項目コードが存在すること
2	当該セクション内に entry/act/code要素が存在すること
3	当該セクション内に entry/act/effectiveTime要素が存在すること
4	当該セクション内に entry/act/performer/assignedEntity/code要素が存在すること

※2. 途中終了時「コード: 23」の場合であって、項目及び項目値が記録されたときは上記チェックシートによりチェックする  
 ただし、継続的な支援によるポイントの下限チェックは行わない

※3. 同一の項目コードが記録されている場合、先頭の項目のみチェックを行う

注1. 項目1113~1120については、当該保健指導を実施している保険者(又は保健指導機関)が継続的な支援の一部委託(又は再委託)している場合に入力される。

## 名前空間

(参考)名前空間(XMLインスタンスの定義)について

### 1. 各XMLファイルの名前空間

ファイル	root要素	xmlns属性	xmlns:xsi属性	xsi:schemaLocation属性
基本情報	index	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/ix08_V08.xsd
集計情報	summary	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/su08_V08.xsd
特定健診データ	ClinicalDocument	urn:hl7-org:v3	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd
特定健診決済情報	checkupClaim	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/cc08_V08.xsd
特定保健指導データ	ClinicalDocument	urn:hl7-org:v3	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd
特定保健指導決済情報	healthGuidanceClaim	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance	http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/gc08_V08.xsd

### 2. 記述例

例1)特定健診データファイルの場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>  
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"  
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"  
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">  
  
</ClinicalDocument>
```

例2)特定健診決済情報ファイルの場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>  
<checkupClaim xmlns="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007"  
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"  
  xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ../XSD/cc08_V08.xsd">  
  
</checkupClaim>
```

**補足資料①:XMLデータ型“PQ”、“CD”で構成される組み合わせに関わるチェックについて**

XMLデータ型が“PQ”、“CD”で構成される組み合わせに対して発生するエラー出力パターンを、表1-1、表1-2に示す。

表1-1 エラー表示パターン表<対象健診年度が平成24年度以前の場合>

1個		2個			3個以上
PQ	CD	PQ CD	PQ PQ	CD CD	
入力最小・最大値の範囲外 L2405	H、L以外 L2203	L2111	L2111	L2111	L2111

表1-2 エラー表示パターン表<対象健診年度が平成25年度以降の場合>

1個		2個				3個以上
PQ	CD	PQ		PQ	CD	
入力最小・最大値の範囲外 L2420	L2420	入力最小・最大値の範囲内 L2420	入力最小・最大値の範囲外 入力最大値以上 H以外 L2421	入力最小値以下 L以外 L2421	L2111	L2111

■L2420

※対象健診年度が平成25年度以降の場合のみ

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”で、結果(value)が入力最小・最大値の範囲外の場合、かつ、当該項目中に検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)が存在しない場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="2000" unit="mg/dL" />
</observation>
```

CDが記録されていない

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)が存在しない場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

PQが記録されていない

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”で、結果(value)が入力最小・最大値の範囲内の場合、かつ、当該項目中に検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)が存在する場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="1999" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

結果(value)が入力最小・最大値の範囲内にもかかわらず、CDが記録されている

■L2421

※対象健診年度が平成25年度以降の場合のみ

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”の結果(value)が入力最大値以上の場合で、かつ、当該項目中の検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)の結果(code)が“H”以外の場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="2000" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="L" />
</observation>
```

最大値以上の場合は“H”

・入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値(observation/value)の検査結果データ型(xsi:type)が“PQ”の結果(value)が入力最小値以下の場合で、かつ、当該項目中の検査結果データ型(xsi:type)が“CD”の検査結果値(observation/value)の結果(code)が“L”以外の場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="10" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="H" />
</observation>
```

最小値以下の場合は“L”

**補足資料②:HbA1c検査結果値の国際標準規格に関するチェックについて**

HbA1cの検査結果値(JDS値又はNGSP値)に関連するJLAC10コード一覧を表2-1に、対象健診年度におけるHbA1cの検査結果値のパターンにおけるチェック結果を、表2-2に示す。

表2-1 HbA1cの検査結果値に関連するJLACコード一覧

項番	JLAC10コード	項目名
1	9N14100000000011	採血時間(食後)
2	3D010000001926101	空腹時血糖(電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法))
3	3D010000002227101	空腹時血糖(可視吸光光度法(ブドウ糖酸化酵素法))
4	3D010000001927201	空腹時血糖(紫外吸光光度法(ヘキソキナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素酵素法))
5	3D010000001999901	空腹時血糖(その他)
6	3D045000001906202	HbA1c(免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等))(JDS値)
7	3D045000001920402	HbA1c(HPLC(不安定分画除去HPLC法))(JDS値)
8	3D045000001927102	HbA1c(酵素法)(JDS値)
9	3D045000001999902	HbA1c(その他)(JDS値)
10	3D046000001906202	HbA1c(免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等))(NGSP)
11	3D046000001920402	HbA1c(HPLC(不安定分画除去HPLC法))(NGSP値)
12	3D046000001927102	HbA1c(酵素法)(NGSP値)
13	3D046000001999902	HbA1c(その他)(NGSP値)

表2-2 HbA1cの検査結果

対象健診年度	HbA1cの検査結果値	結果
平成24年度以前	JDS値 <sup>*1</sup>	正常
	NGSP値 <sup>*2</sup>	L2422
平成25年度以降	JDS値 <sup>*1</sup>	L2422
	NGSP値 <sup>*2</sup>	正常

(注) \*1 表2-1の項番6~9  
\*2 表2-2の項番10~13

■L2422

- 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、HbA1cの検査結果にNGSP値が記録されている場合、当該エラーとする。
- 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、HbA1cの検査結果にJDS値が記録されている場合、当該エラーとする。

例)

```
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
  <code code="3D045000001906202" displayName="HbA1c"/>
  <value xsi:type="PQ" value="" unit=""/>
  <interpretationCode cod
  ....
</observation>
```

検査結果がNGSP値の場合は  
"3D046000001906202"

■L2101

- 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、項番2~9の内、いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在しなかった場合、当該エラーとする。
- 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、項番2~5、10~13の内、いずれか1つ以上、未実施以外の項目が存在しなかった場合、当該エラーとする。

■L2401

- 項番1が未実施以外で存在し、かつ項番2~5がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合で、かつ項番1の項目値が"2"(食後10時間以上)でない場合、当該エラーとする。ただし、以下の条件のいずれかが成立する場合は除く。
  - 対象健診年度が平成24年度以前の場合にて、項番6~9がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合
  - 対象健診年度が平成25年度以降の場合にて、項番10~13がいずれか1つ以上、未実施以外で存在する場合